

平成21年度 盛岡大学附属高校 学校自己評価及び学校関係者評価書

1. 今年度の重点目標・具体的な取り組み

学校経営方針	キリスト教主義に基づいて教育を行い、愛と奉仕の精神を体した人格を形成する。
本年度学校重点目標	1) 地域から信頼される学校経営と盛岡大学との高大連携の強化に努め、定員を上回る入学者を確保する。 2) 耐震補強および改修工事計画を年内に策定する。
本年度の具体的な取り組み	1) 受験者数・入学者数を増やす。 2) 学力向上に努める。 3) 規律ある学校生活を実現する。 4) 安定した進路実績を実現する。 5) 地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。

本年度の学校自己評価の結果

	重点目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校経営	受験者・入学者数を増やす	入学者150名を以上を達成する。	A	受験者の増加に取り組みたい。	A	A
		入試制度の改革や中学校訪問の強化などの施策を実施する。	A	中学校訪問の内容を吟味したい。	A	A
学校関係者評価者による意見		頑張れる生徒を入れて欲しい。より見やすい情報誌をお願いしたい。				
総務・渉外	活力あるPTA活動の推進と、学習活動に適切な環境の向上を図る。	PTA会報を年2回発行し、保護者に必ず届くようにする。	A	会報を年3回に増やしたい。	A	A
		防犯対策マニュアルに基づき年1回訓練を行う。	A	更なる生徒の安全確保を検討したい。例えばカメラの設置。	B	A
学校関係者評価者による意見		PTA会報は沢山のの人に寄稿してもらいたい。防犯マニュアルについて生徒の理解を深めるべきである。				
学習指導	学ぶ意欲を育て、学習する慣習を身につける。	朝学習を1年間継続して行う。	A	漢字練習以外の自習を計画したい。	A	A
		全教科1単位30時間以上の授業時間の確保をめざす。	A	行事が特定の曜日に偏る場合、曜日の調整をしたい。	A	A
	学業不振者にきめ細かい指導を行う。	定期考査前に補習を実施する。	B	補習の趣旨を理解させ、意欲を高めさせたい。	B	B
		進路マップ研修会を実施する。	B	分析を指導に生かし、学力を高めた。	B	A
学校関係者評価者による意見		盛岡大学進学50人の人数確保だけではなく、集中力、精神力のある生徒を育てて欲しい。				
生徒指導	規律ある学校生活を実現する。	遅刻者を30%減少させる。	B	1年生の指導と10月以降の指導を強化したい。	B	B
		マナーアップ運動を月1回実施する。	A	生徒に、服装マナーの自覚を持たせたい。	B	A
学校関係者評価者による意見		校門指導など、毎日の指導が大切である。				

保健・教育相談	基本的な生活習慣の確立と、生徒が持つ内的問題について理解に努め、自立の援助をする。	保健だよりを3回以上発行する。	B	内容を吟味して中身のある「保健だより」を発行したい。	B	A
		心身の健康に問題を持つ生徒の早期発見に努め、関係職員と連絡を密にし、保護者・支援機関などと連携して、支援活動の推進に努める。	A	支援機関を充実させ、更なる生徒の支援につなげたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		面倒見の良い学校として、継続して頑張ってもらいたい。中学時から不安定な生徒が多いので頑張してほしい。				
進路指導	多様な進路実現と盛岡大学・短大への進学指導を強化する。進路情報の提供に努める。	盛岡大学・同短期大学部への50名の進学者を達成する。	B	更に大学進学への意欲を高めたい。	B	B
		「進路の手引き」の全面改定を行う。	A	「総合の時間」に活用できる手引きにしたい。	A	A
		特進コースは国公立希望者の半数以上の合格を目指す。	B	センターの得点を上げたい。	B	B
学校関係者評価者による意見		生徒の気質は5年、10年前と大きく違ってきているが、何事にも熱中する集中力のある生徒を育てて欲しい。				
家庭・地域との連携	地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。	生徒・保護者との二者・三者面談、家庭訪問を実施する。	B	家庭訪問月間を検討したい。	B	B
		地域行事やボランティア活動に生徒を参加させ、地域との交流を図る。	A	取り組みを広く知らせたい。	A	A
		学年通信、学級通信、校長通信を月1回発行する。	B	学年ごとのチェックを実施したい。	B	B
学校関係者評価者による意見		ボランティア活動の評価が低いので、機会をとらえて知らせる必要がある。学級通信は出してほしい。				
学校独自の活動	学校自己評価を行い、評価結果を公開する。	生徒・保護者にアンケートを改善して、実施する。	A	保護者の回収率をあげたい。	A	A
		結果を保護者に会報やホームページ等で公開する。	A	結果を来年度の学校要覧に載せたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		保護者の意見が非常に参考になる。保護者の意見を生かしてほしい。				

※達成状況は教職員による学校評価アンケートや保護者・生徒のアンケート、1年間の業務遂行状況を勘案し校長がA～Dの評価をしたものである。(A 適切である B おおむね適切である C あまり適切ではない D 全く適切ではない)

※学校関係者評価は自己評価の適切さと改善策の適切さについてAからDの評価をしたものである。(A 目標を十分達成している B 目標を達成しているが改善の余地がある C 目標を達成するには幾つかの課題がある D 課題が多く改善が必要)